

# LISTEN MINI

THE WORLD OF WIDEX



# 全力疾走 の人生

2014.08  
WWW.WIDEX.JP.CO.JP

Printed by ad-bic / 2014  
9 502 3615 001 #01



# 読者の皆様へ

今号はVol.41ではなく、準備号『LISTEN mini』です。『LISTEN - WIDEX CLUB』は次号より『LISTEN』へと変わり、新たなスタートを迎えることとなります。

名前も新たに、補聴器や難聴のこと、世界中で聞こえに悩む人たちの現状やその活躍について、これまで以上により多くの情報を皆様にお届けしたいと考えています。

「成層圏からのスカイダイビング」  
過去に成層圏からのスカイダイビングで世界記録を保持していた男性の今なお続く冒険に満ちた人生を追いました。

「補聴器をもっと便利に快適に」  
ラジオやスマートフォンで簡単に使えるリモコンや、補聴器のお手入れの強力な味方となる新型乾燥器などを特集しています。

いつもたくさんのお便りありがとうございます。  
ご意見、ご感想は11ページの宛先までお送りください。

『LISTEN』を引き続きよろしく願いいたします。

マーケティング部 『LISTEN』編集部

## People

3 Life at full blast

## Research and technology

8 補聴器をもっと便利に快適に

## Reader's corner

10 福耳専科 / ワイデックスアベニュー



表紙に写った一人の男性にお気づきでしょうか。彼は当時のアメリカ空軍大佐ジョセフ・キッティンジャーです。1969年8月16日、アメリカ・ニューメキシコ州の砂漠の遙か上空31,330メートルに浮かぶ Gondola から彼は飛び降りました。その落下速度は時速988kmにも達しました。巻頭特集は彼の半生の物語です。(Photo by US Air Force/Time Life Pictures/Getty Images)

発行/ワイデックス株式会社

〒131-0034

東京都墨田区堤通1-19-9

TEL/0120-332-604

FAX/0120-332-394

コーポレートサイト

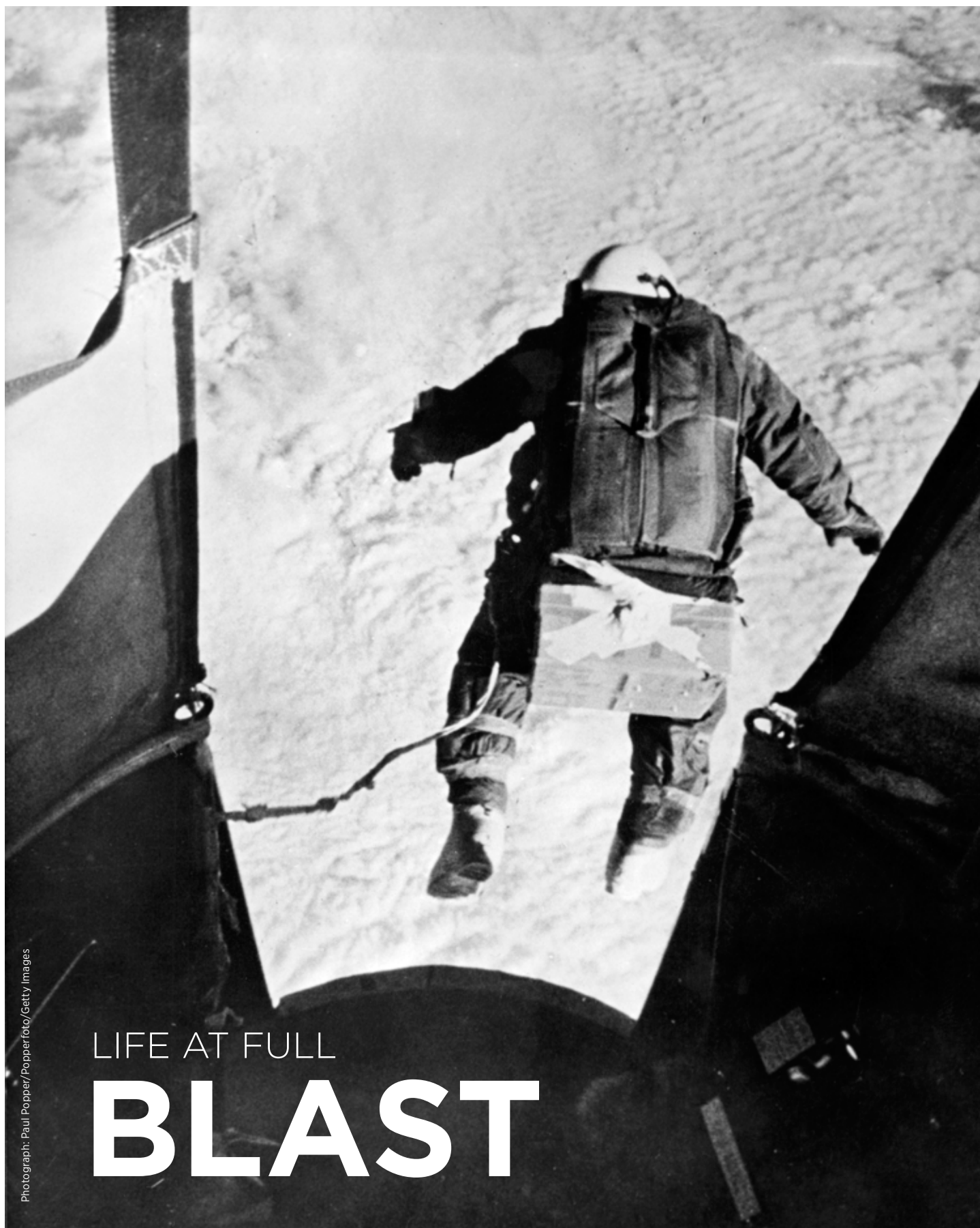
JAPAN.WIDEX.COM

難聴と補聴器の総合サイト  
「みみから。」

WWW.WIDEXJP.CO.JP

発行責任者/武田 和浩

編集人/近藤 友則



Photograph: Paul Popper/Popperfoto/Getty Images

LIFE AT FULL

# BLAST





(写真P4) この実験での降下時間は約5分。ただひたすら落下し続けるというものでした。(写真P6) 降下の際に身に着けていた圧力スーツを脱いだとき、彼の身体には特殊な下着の跡がついていました。(Photos by Paul Popper/popperfoto/Getty Images and US Air Force/Time Life Pictures/Getty Images)

# 全力疾走の人生

2012年10月、フェリックス・バウムガルトナーが成層圏からのスカイダイビングに成功したことがニュースになりました。その時、このダイブをサポートチームの中心で見守っていた男性がいました。彼の師匠、ジョゼフ・キッティンジャーです。ジョゼフは、このダイブがどのようなことをよく知っています。なぜなら52年前に彼も同じようなダイブをしたからです。それは現在のようなテクノロジーがほとんどなかった頃のこと。彼の冒険に満ちた人生と、補聴器によっていかに今なお活動的な日々を送っているのかをお話ししましょう。

誰かボランティアをお探しではないですか？それならジョゼフに頼んでみるといいかもしれません。

彼はワニとレスリングをしたことがあります。ベトナム戦争には3回出征しています。成層圏からのダイブも3回しました。どれもみなさんには過酷なことばかりに聞こえるかもしれませんが、キッティンジャーはいつも喜んで参加していました。後悔はしていないと語っています。彼にとってこれらは、人生を面白いものにするスパイスなのかもしれません。

## 一世一代のダイブ

キッティンジャーは、1960年、アメリカ空軍のプロジェクト「エクセルシオIII」において、飛行機乗組員が高空から機外脱出を行う際の安全性を評価するために行われたパラシュート降下実験で、約31kmもの上空からダイブしたことで有名です。これはNASAの全盛期よりも前のことで、まだ宇宙空間の闇の探索も始まっていませんでした。この危険なプロジェクトはベテラン中のベテラン搭乗者でも怖がるようなものでしたが、幸いキッティンジャーはそんなたちではなかったようです。

アメリカ合衆国フロリダ州オーランド近くの自宅で電話に応じながら、キッティンジャーはこのときのダイブで味わった興奮を思い出していました。「私は詩人ではありませんから」と前置きしながらも、そのとき彼は表現し難い多くの感情に囚われたといいま

す。ただ、実験を遂行するパイロットとしての訓練では、恐怖や心配は無視して任務に集中するように指導されました。

「予測できないことは常にあります。起こる可能性のある問題すべてに対処できているわけではないということを心得なければなりません」と彼は続けます。「しかしすべては訓練の成果であり、起こりうるすべての可能性に備えて準備を整えた成果です」

最初の降下実験「エクセルシオI」で、キッティンジャーは多くの予期しない問題に直面しました。彼は降下中コントロールを失って回転し、同時に意識を失ったのです。自動的にパラシュートが開いたために命拾いしましたが、結果的に実験は失敗でした。しかしこの事故にもかかわらずキッティンジャーは2度目の降下実験「エクセルシオII」に挑み、さらに3度目の降下実験「エクセルシオIII」では31,300mというパラシュート降下開始高度の最高記録を達成しました。このダイブでの降下時間は4分36秒におよび、最高速度は時速988kmに達しました。

「私にとってはいつものオフィスでしている仕事となんら変わりはありませんでした」と彼は言います。「ストレスの強い環境で仕事をするには慣れていました。直面にしている問題に取り組むこと、準備を周到に整えること、これに尽きます」

### 騒音の中でチャレンジし続けた人生

キッティンジャーはアメリカ空軍に勤めた30年あまりの間に、ベトナム戦争に3回出征し、捕虜になって11ヶ月収監されました。1984年には世界初の気球による単独大西洋横断飛行に成功しています。ただし、彼にとってそれは単なる通過点でしかありませんでした。2012年10月、これまで破られていなかったキッティンジャーのパラシュート降下開始高度の新たな記録が歴史に刻まれた日でさえ、それは変わらず続く旅の通過点だったのです。

キッティンジャーにとって人生はいつも冒険でした — そしてそれはひどく騒々しいものでした。現役のパイクには、耳を騒音から防護することなく、週に20時間以上も戦闘機に乗っていました。

「私はジェット機の操縦を29年も続け、この時の騒音で私の聴力はすっかりダメになってしまいました」と彼は言います。

「騒音は非常に大きかったのですが、イヤホンもしませんでしたし、耳を騒音から防護することもしませんでした。なによりそのよ



うな指導は受けていなかったのです」

キッティンジャーが初めて聴力に支障を感じたのは45歳のときでした。ただし、それから補聴器を初めて使用するまでに25年もの時間を要したのです。彼は70歳になっていました。

「こんなに時間がかかったのはおそらく私のエゴのせいでしょう。私はいよいよ聞こえなくなるまで補聴器をつけずに過ごしたんです」と彼は続けます。「ついに補聴器をつけたとき、私はなぜもっと早く使用しなかったのかと後悔しました」

補聴器はキッティンジャーが70歳代から80歳代に生き生きとした人生を送る上で大きな助けとなりました。彼はこの退役後の時間の多くを町から町へと旅芸人のように移動しては、地元の人々に飛行機の搭乗機会を提供するビジネスに費やしてきました。さらに彼は今でも熱気球飛行では乗客と同伴していますし、80歳になった年には、フロリダ川で3.6メートルもあるワニとの格闘で助っ人までしました。

### 彼の勢いは衰えません

引退してから、キッティンジャーは「エクセルシオIII」の世界記録を更新しようとする人々から協力してほしいと頼まれることが幾度となくありました。彼はみな断っていましたが、ひとつだけ例外がありました。それがエナジードリンクで有名なレッドブルです。レッドブルはキッティンジャーに、成層圏での緊急脱出時の使用に耐える圧力スーツ、および高度でのパラシュート性能をテストするプロジェクトについて協力してもらえないかと依頼したのです。

この依頼は他のものとは違いました。それまでキッティンジャーに接触してきた人々の多くは命知らずで、ただ記録破りを目指していました。レッドブルが違っていたのは、そのプロジェクトが科学と安全という2つに重点を置いていた点です。

「私は誰かが命を落としかねないようなことに関わりたくありませんでした」と彼は言いました。「レッドブルの件は、安全が主たる目的だったのです」

キッティンジャーは、2008年にレッドブルのプロジェクトに正式に参加しました。このプロジェクトでは彼はエンジニアとして、またダイバーに選ばれた43歳のオーストラリア人スカイダイバー、フェリックス・バウムガルトナーの師匠として尽力しました。キッティンジャーはその特異な経験ゆえにこのプロジェクトにとってのキーパーソンでした。

「私は降下実験でダイブしたことのある唯一の人間でしたから、フェリックスが相談できるのは私しかいませんでした」と彼は言いました。

### コミュニケーションの大切さ

2012年10月14日、バウムガルトナーはヘリウムで膨らませた大気球につながれたカプセルに乗り込み、成層圏へと上昇していきました。地上ではエンジニア、医師、科学者によるチームが彼の様子をモニタリングしていました。このミッションのコントロールチームの中心にいたのがキッティンジャーであり、地上からバウムガルトナーへ絶えず指示と激励を送り続けていました。この役目を果たすためにキッティンジャーは一時の油断もなく迅速な判断をしなければなりません。とりわけ重要なのは、交わされる会話のすべてを聴き取ることでした。

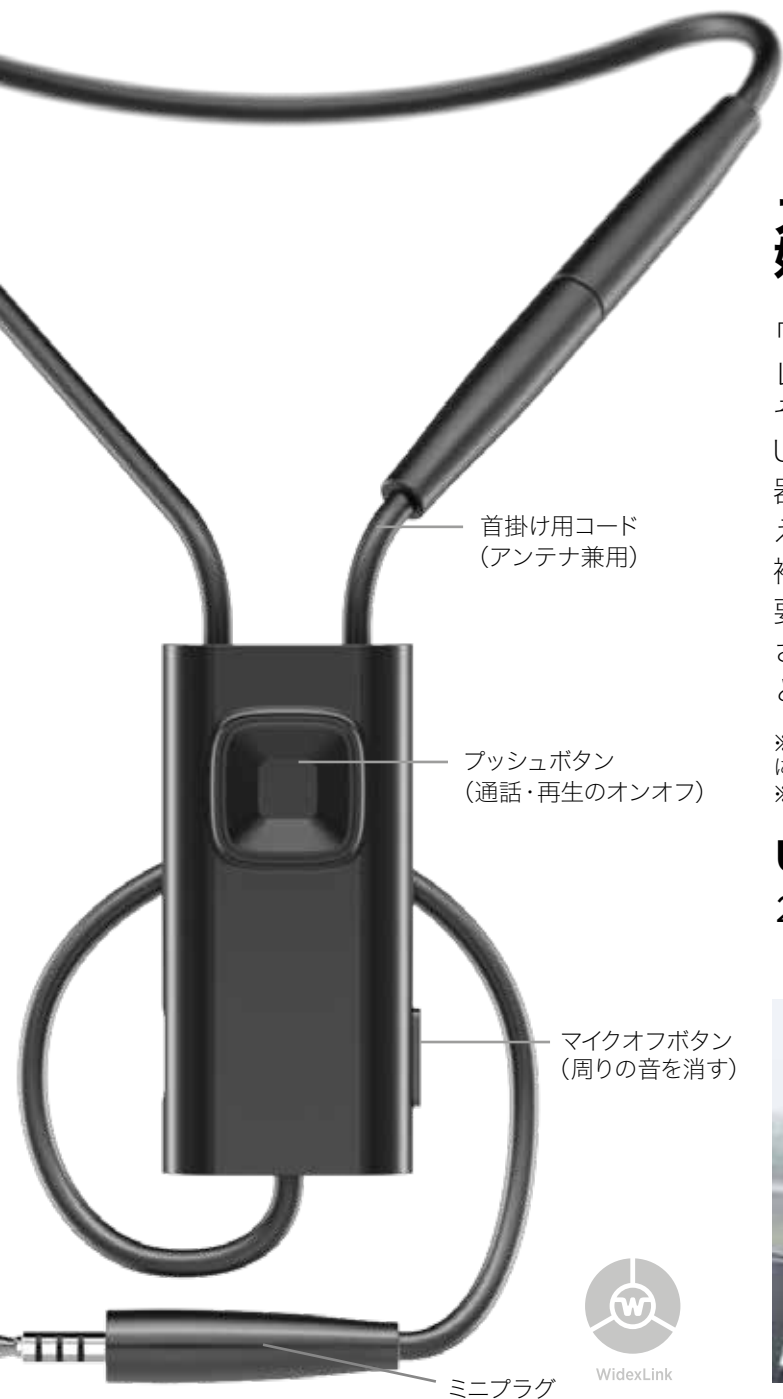
「もし補聴器がなかったら、私はその役目を果たせなかったことでしょう」と彼は言います。「補聴器をつけていたからこそ、私はコミュニケーションに何も問題がありませんでした」  
レッドブル・ストラトスと呼ばれたこのプロジェクトが終わり、人々は当時84歳のキッティンジャーが名実ともに引退すると考えたでしょう。しかし彼は冒険から引退する気はありませんでした。

当時-キッティンジャーはこう語っています。

「私は次の冒険を探しているところです。私は何かにチャレンジしたり、研究プログラムに関する仕事をすることに喜びを感じます。まだ次の冒険は見つかっていませんが、まだまだ探し続けるつもりですよ」

# 補聴器をもっと便利に快適に

ワイデックスでは、みなさんに良い音を届けるにはどうすればいいのか、もっと役立つ補聴器を作るにはどうすればいいのかを日々考えています。そして補聴器のある毎日の生活をみなさんがもっと快適に過ごすために何ができるかを考えています。補聴器での聞こえも、補聴器のある生活も、ワイデックスは応援します。



## スマートフォンもラジオも 好きなときに好きなだけ

「補聴器をつけたまま、スマートフォンやラジオ、ポータブル音楽プレーヤーなどの携帯機器をもっと簡単に使えたら・・・」  
そう思ったことはありませんか？

UNI-DEX (ユニデックス) は、本体から伸びるミニプラグを携帯機器のイヤホンジャックに挿し込むだけで自動的に補聴器へ音を伝えてくれる、ワンタッチ式の補聴援助機器です。

補聴器とUNI-DEXは無線で繋がり、特別なセッティングをする必要がないので、扱いがとても簡単です。イヤホンジャックがあれば、さまざまな機器に使うことができるので、いつでもどこでも好きなときに好きな用途で楽しむことができます。

※すべてのイヤホンジャックをサポートするものではありません。接続する機器側の仕様によりお使いいただけない場合もあります。  
※UNI-DEXはドリーム、クリア、スーパーシリーズで使用することができます。

**UNI-DEX**  
21,600円 (税込)



WidexLink



## お手入れの強い味方 乾燥剤がいらぬ新型電気乾燥器

愛用の補聴器を長く使い続けるために、日々のお手入れは欠かせません。特に湿気は補聴器にとって大敵です。音質に悪い影響を及ぼすだけでなく、故障の原因にもなります。

DRY-GO UV (ドライゴーユーブイ) の特徴はその強力な乾燥・除菌効果です。3時間の自動運転で温風対流による乾燥とUV-C (紫外線) 照射による除菌を同時に行っています。また乾燥剤が必要ないため、1回の運転あたり約0.3円の電気代だけで使用することができます。お財布に優しいのもうれしいですね。

スタイリッシュな外観とコンパクトで持ち運びやすいサイズで人気急上昇中です。

### DRY-GO UV

10,800円 (税込)



## 左右両方からの音を 聞くためのシステム

補聴器の「クロスシステム」をご存じでしょうか。片側の耳が聞こえない場合に、聞こえる側の耳で左右両方からの音を聞くためのシステムを「クロス」といいます。さらに、聞こえる側の耳に難聴がある場合には、その音も聞こえるようにするのが「バイクロス」です。

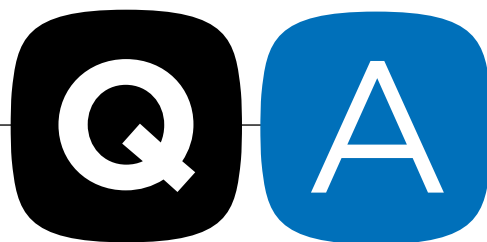
WIDEX CROS (ワイデックス クロス) では、聞こえない側の耳に送信器を装着し、聞こえる側の耳に受信器となる補聴器を装着します。音は無線で送信器から受信器 (補聴器) へ届けられます。

左右からの音を聞くことで、音がより認識しやすくなり、同時に会話の聴き取りがより快適になります。

※WIDEX CROS対応の受信器はドリームシリーズのみとなります。

### WIDEX CROS (送信器)

97,200円 (税込)



# 福耳専科!

読者の皆様からのご質問やリクエストにお答えします。  
「聞こえ」や補聴器の情報を、ぜひお役立てください!

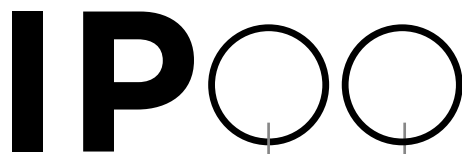
**Q:** 私はよく汗をかくのですが、暑い季節、補聴器をお手入れするコツを教えてください。

A: 汗は補聴器の大敵です。また梅雨時から残暑にかけては湿度が高く、これらの汗や湿気は故障の原因としてよくあげられるものです。対策として、こまめに補聴器の汗を取り除くことが重要です。雨に濡れた場合なども同様ですが、乾いた布や、ティッシュで軽く本体を拭い、汗や水分が残らないようにします。補聴器内部に入ってしまうと感度の低下や故障の原因になる可能性があります。次に重要なのは乾燥です。使用しない時には乾燥器や乾燥ケースでしっかりと乾燥させるようにしましょう。そして、定期的に補聴器を購入したお店に行き、専門のクリーニングを受けてください。注意する点として、最近では防水タイプの補聴器も登場していますが、完全防水の補聴器はありません。以前より水分に強くなっている補聴器もありますが、日々のお手入れやお店でのクリーニングが必要なのは変わりません。補聴器を長く愛用するためにぜひ実践してみてください。

**Q:** 最近は補聴器でも「防水」タイプを目にします。特にIP〇〇と書いてありますが、これは何ですか？

A: IPとは、「International Protection」の略で、機器への異物の侵入に対する保護強度を示す規格です。通常「IP57」のように、二桁の数字の大小で強度の等級を表しています。左の数字は「人体及び固形物に対する保護」、右の数字は「水の侵入に対する保護」となります。補聴器であれば、左の数字は「ホコリや耳垢などの固形物に対する保護」、右の数字は「水分に対する保護」ということとなります。数字が大きいほど保護の強度が高くなるわけですが、例えばワイデックスの補聴器は大半の製品が「IP57」です。これはそれぞれどのくらいの強度かということ、**「5」**は「有害な影響を及ぼすほどの粉じんが内部に侵入しない」となります。**「7」**は「規定の圧力および時間（水深1m以内、30分以内）で水中に浸漬しても有害な影響を受けない」となります。補聴器を購入する際の参考にされてはいかがでしょうか。

## 防塵・防水の表記



人体および固形物に対する保護

水の侵入に対する保護



WIDEX DREAMはすべてのタイプが「IP57」です。

# WIDEX AVENUE ワイデックスアベニュー

いつもたくさんのお便りありがとうございます。  
今回も全国の皆様から届いたお便りの中から、ほんの一部をご紹介します。

## 聞こえに悩む人たちのことを もっと多くの人に知ってほしい

福島県 酒井明美 52歳

私自身も耳の聞こえが良い方ではないのですが、よく夫に無視をしていると怒られてしまうことがあります。同じように日常生活に支障を感じなくとも、大きな音（換気扇、テレビなど）により会話が聞きにくい現状があります。私のように小さな不便を感じている人がいることをたくさんの方々に知ってほしいと思います。貴誌に出会い、同じような方々がたくさんいらっしゃることを初めて知りました。これからも応援しています。

## 悪くなってしまったのは発声？ それとも聞こえ？

埼玉県 福田吉雄 81歳

私は、テレビの音を大きくしないと聞こえなかったり、テーブルを囲んでの会話が聞きづらかったりで困っていましたが、補聴器を使うようになり助かっています。

なかでも一番吃驚したのは、若い頃から合唱の低音部（バス）を担当しているのですが、高齢になってから低音部を出すのが苦しくなったり、頑張っても発声しても、声がかもったり、割れたりして良くないと言われてしまうようになりました。それが補聴器をつけて歌うと、なんと低音もちゃんと出ているではありませんか。低音も発声も駄目になって来てしまったと落ち込んでいましたが、原因は自分の耳の聞こえだったんです。今は安心して合唱（グリークラブ）を楽しんでいます。

## 目も耳も足も 同じように大切にす

島根県 井上ミヨ子

島根県は長寿の県です。年をとると耳の聞こえが悪くなります。補聴器で、一人でも多くの老人を喜ばせてください。生活するにあたり、目、耳、足、とても頼りにしているところです。

## 補聴器もアクセサリみたいに もっとおしゃれに

千葉県 佐藤富江

若くして難聴の方には申し訳ありませんが、私の様に年齢が高くなってから耳の聞こえが悪くなった者には、とにかくデザインが気になります。ほとんどの補聴器が肌色です。使用しているのがわかりにくい色だと云う事だと思のですが、それがかえて年を取ったなあ・・・と他人にわからせてしまうような気がします。

私は70歳です。今の女性は本当におしゃれに気を使います。友達もまた肌色の補聴器を気にしながら使っています。これがアクセサリになればいいのに・・・と思っている女性は多いと思います。

ほちょうき  
ワンダフル川柳  
補聴器で孫の呼ぶ声  
はつきりと  
徳井隆男  
補聴器も枕の横で  
休ませる  
鬼村吉郎  
補聴器で笑顔の家庭が  
引き戻る  
田中清治

## お便り大募集!

### 投稿

補聴器をつけて気づいたこと、補聴器販売店での出来事、『LISTEN - mni』のご感想など、お好きなテーマでご自由にお書きください。掲載された方には商品券（1,000円分）を進呈します。

### ほちょうきワンダフル川柳 / Q&A (福耳専科)

補聴器にまつわる感動・感想などを五・七・五の川柳にしてお寄せください。また難聴や補聴器についてのご質問も受け付けています。

### 応募の宛先

〒131-0034  
東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー  
ワイデックス株式会社『LISTEN』事務局

※投稿内容を誌面に掲載させていただく場合があります。イニシャル表記をご希望の場合は必ずその旨をご記入のうえ、お送りください。  
※当社が取得した個人情報は、誌面・ホームページの制作、当社からのご案内（アンケートのお願いやプレゼント発送）およびその連絡業務に利用します。その目的以外での利用はいたしません。



ワイテックスを選ぶこと。それは、「WindMade」認定企業を選ぶということ。「WindMade」とは、風力による発電を採用する企業に与えられる世界で初めての消費者向けマークです。